

# 曾谷 龍平

Ryuhei Sotani

白鷗大(4年)・投手  
左投左打・182cm79kg

上武大を倒して  
神宮に出たい。  
そのことばかりを  
考えています



## 最速151キロの大型左腕

昨秋、一気にドラフト上位候補まで駆け上がった。身長182センチの長いリーチを生かして最速151キロの力強いストレートをスリークォーターから投げ込む。このタイプでありながらも制球も悪くなく大崩れしない。変化球は主にスライダー、カットボールが中心で球種は少ないが、それでも力でねじ伏せる姿は見応え十分だ。

## Profile

奈良県斑鳩市出身。斑鳩高(現法隆寺国際高)でプレーしていた父・博一さんの影響で、斑鳩小1年時から斑鳩少年野球部で野球を始める。斑鳩中時代は志貴ボーイズに所属。宮崎仁斗(立教大)らと全国大会に出場した。秋田・明桜高では2年夏に甲子園に出場し、初戦の二松学舎大付高戦で8回から登板したものの、2回5安打3失点。白鷗大では3年春からエースとなり、春4勝2敗、秋は4勝0敗(防御率0.24)と活躍している。

## 山口航輝と吉田輝星

——奈良から秋田の明桜高に進んだきっかけは何ですか？

曾谷 関西の強豪校からも声をかけてもらっていましたが、「寮のある学校に行って自立したい」と思い、明桜に決めました。

——同期には山口航輝選手(ロッテ)もいましたね。

曾谷 存在は進学してから知ったのですが、高1の時に140キロくらい投げていたの、「すごいピッチャーやな」と思いました。山口は人間的にもめちゃくちゃいいヤツでしたから、高校最後の1年は「ケガで投げられない山口の分まで頑張らないといけない」という思いがありました。同学年全

員が「山口をまた試合で投げさせたい、甲子園で投げさせたい」と思っていました。僕は地元が関西同士だということもあり、仲もよかったです。強くそう思いました。

——しかし、最後の夏は秋田大会決勝で吉田輝星投手(日本ハム)の金足農業高に0対2で敗れて甲子園出場は叶いませんでした。

曾谷 決勝戦は小西輝(帝塚山大)が先発して、僕は途中から投げて1失点。悔しかったです。

——その後の「金農ファイバー」をどう見ていましたか？

曾谷 正直、金足農業が甲子園の決勝までいくとはまったく思っていなかったです。当時は負けた悔しさで応援もしたくなかったのが正直なところでした。